丹頂の園　施設移転計画内容について

（障害者支援施設、生活介護センター、特定相談支援事業所『りりーふ』）

なぜ移転するのか？

○障害者支援施設丹頂の園は、道東地域に於ける唯一の重度身体障害者入所施設として昭和５５年６月の開園以来、本年６月で４５年が経過しています。

○入所されているご利用者については、体調の急変などで救急車を要請することも多い中、現在の場所では要請から到着、搬送先の病院までには１時間ほどかかり、緊急時での不安があります。

○施設周辺には住宅も無く、地域社会から隔離された場所となり地域社会と連携を取ることも難しい状況であります。

○水源は深井戸を使用しており、水脈が渇水する恐れや災害・停電時における不安定な給水状況なども不安要素であります。

○旧法における建物のため４人部屋が多く、プライバシー確保が困難であり、ご利用者にとって快適な生活を提供することが困難となっています。

今後は大きな修繕が必要な箇所も多くみられると予想され、建物や設備の老朽化への早期対応に加え、入所されているご利用者が心豊かに、安全で安心を保障できる生活の場としての環境改善を第一に、職員の労働環境などを含め、総合的に考慮し移転改築を計画しています。

どこに移転するのか？

○北海道から千島海溝大地震に於ける大津波被害想定が発表され、釧路へは 20mの大津波被害というショッキングな報道がありました。
丹頂の園では、ほとんどのご利用者が車いすで生活を送られていることから、被災時に於いて早期の避難方法や移転地候補の再検討など協議を重ね、「安全安心で快適な生活環境の提供」という法人理念に則り、ご利用者の命の保障が最優先と考え、東部高台にある釧路市益浦１丁目（スーパーセンタートライアル益浦店様　裏地）に移転地が決まりました。